

学発第13号の2
昭和31年1月10日

湯川秀樹 殿

日本学術会議
原子力問題委員会委員長
伏見康治

拝啓 時下ますます御清栄のことと存じます。

さて、本委員会は、1954年に設置されて以来、わが国の
原子力問題について、深い関心を払って参りました。

このたび、貴殿をお招きし、別紙のとおり懇談会を開催いた
したいと存じます。御繁用中のところ恐縮でございますが、御
参会の上、御意見をお聞かせ下さいますようお願いいたします。

敬具

旅費はあたいが手立てでございます。

c111-024-024

学発第13号
昭和31年1月10日

原子力問題委員会委員 殿

日本学術会議
原子力問題委員会委員長
伏見 康治

懇談会の開催について

前回委員会の申しあわせにより、下記のとおり今後の原子力問題等について懇談会を開催いたします。

ただし、旅費は、予算の都合で半額支給といたしますから、悪しからず御了承下さい。

おつて、御出席の御都合を、同封のはがきにより、折り返し御回報下さい。

記

1. 会議名 原子力問題に関する懇談会
2. 日時 1956年1月16日(月曜) 10時より
3. 会場 日本学術会議 会員控室

4. 当日は、次の6氏をお招きしてあります。

有 沢 広 巳
石 川 一 郎
神 原 豊 三
駒 形 作 次
杉 本 朝 雄
湯 川 秀 樹 (50音順)

なお、1月17日(火)10時より、日本学術会議会員控室で、原子力特別委員会設立世話人会を開催いたします。御都合おつきの方は御出席下さい。